

2022年12月12日  
東海旅客鉄道株式会社

## 在来線における 車両側面に設置したカメラを用いた安全確認の検証について

当社では、最新の技術を活用した経営体力の再強化に取り組んでいます。その一つとして、安全度を高める方策を検討しつつ、3両以上の編成へのワンマン運転の導入を進めていきます。

このたび、車両側面にカメラを設置した試験用車両を投入し、車両側面のカメラで撮影した画像によるホーム上の安全確認の検証を開始しますので、お知らせします。

### 1. 目的（別紙）

ワンマン運転の列車について、現行は最大2両で運行しており、駅に設置されているワンマンミラーを用いて運転士がホーム上の安全を確認しています。3両以上の編成では、運転士が確認する両数が増えることから、今回、4両編成の試験用車両の側面にカメラを設置し、撮影した画像を用いた安全確認の検証を実施するものです。

### 2. 実施概要

- ・ 期 間 : 2023年1月～しばらくの間
- ・ 試験用車両 : 315系 4両編成


### 3. 導入計画

検証結果を踏まえ、今後の導入計画を検討していきます。

### 4. その他

本検証で用いる画像は、駅に設置している車掌用カメラによる画像と同様、ホーム上の安全確認を実施するために撮影することを目的としており、特定の個人を識別するものではありません。

# 車両側面に設置したカメラを用いた安全確認の概要

編成両数	ワンマン運転の列車発車時におけるホーム上の安全確認手段	
2両 (既存)	ワンマンミラー	
4両 (今回試験)	確認両数が増える 車両側面に設置したカメラの画像を 投影した運転台モニター	

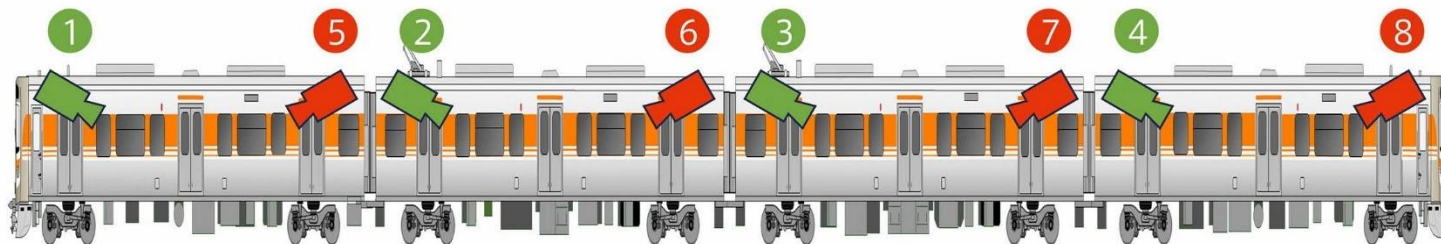
カメラ①～④使用のイメージ

- 1
- 2
- 3
- 4



①～④  
を使用

←  
進行方向



⑤～⑧  
を使用

→  
進行方向

車両側面に設置したカメラの画像により、運転士が安全を確認